

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領 立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿
○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項
○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

立川市立新生小学校 教育目標
「自ら学びを創る子ども」
(自立) …主体的に学び、問題解決や達成に取り組む子どもの育成
「温かい人間関係を創る子ども」
(共生) …共感する態度で接し、相手を理解しよさを認め合う子どもの育成
「たくましい気力・体力をつくる子ども」
(健康) …快活な態度で過ごし、何事も粘り強く取り組む子どもの育成

立川第八中学校区 共通経営方針
○小・中9年間の教育活動により、社会貢献できる児童・生徒を育てる。
○“学力”、“体力”、“豊かな心”を身に付けさせ、生きる力や世界に貢献できる児童・生徒を育てる。
校区で目指す子ども像
○豊かな人間性を身に付け、健やかでたくましく生きる 児童・生徒
○地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする意欲をもつ児童・生徒

経営理念 夢と希望と笑顔あふれる新生小学校 自他を大切にする学びと生活、成就感・連帯感を味わわせる教育活動の展開
「子ども一人一人の心を育てる」「子ども一人一人の確かな学力の定着と体力の向上を図る」「子ども一人一人の心身の安定を図る」

目指す学校像
・豊かで潤いのある学校
人的・物的環境整備がなされ、爽やかな挨拶が飛び交う学校
・自己のよさを発揮できる学校
心豊かに、主体的に、そして創造的に生きる学校
・協力し、高め合う学校
認め合い、支え合い、協力し合う、高め合う学校

目指す児童(生徒)像
・意欲的に学び、よく考え、自信をもって自分なりの考えを表現できる児童
・思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、関わり行動できる児童
・進んで運動に親しみ、健康で、何事にも粘り強く取り組む児童

目指す教師像
・教師としての使命感、熱意、愛情をもち、社会性に富んだ教師
・児童一人一人を大切に、確かな人権感覚を身に付けた教師
・保護者や地域の思いや願いを受け止め、学校教育に生かす努力を惜しまない教師

(1) 学力・体力向上を目指す教育の推進
①各教科において児童が生き生きと自らの考えを發表し合い、聞き合う学習(毎日設定)ができるようにする。また、校内研究の成果を教科・領域等で実践していく。
②アクティブ・ラーニングの視点に立った学習活動において、ICTを効果的に活用した学習を行い、考え、話し合い、学び合う学習の推進を図る。(立川スタンダード20の実践・・・ねらいを明確にした授業)
③朝学習(週2回)による習熟と学力向上ステップアップ推進事業(補習学習)、東京ベーシックドリル(算数)を実施するとともに、1単位時間に習熟や作業等、個々が取り組む時間帯を位置付け(毎日設定)、学力向上(文科省・都の学力調査においてすべての平均を超える)に資する。
④学習規律の基本となる「はい、立つ、です」「せ・め・て」の全学級完全実施(基本的に100%実施)を図る。
⑤各種教育支援機関と連携し、子どもたちの実体験・経験がより多くできるようにする。特に、年間を通じて全学年で、出前授業についても取り入れていく。
⑥読書指導の充実を図り1年間に一人平均50冊以上の読書に取り組む。
⑦校庭芝生化や新生サーキット運動、体力向上月間に取り組み、都の体力調査において、全学年都平均を超える。

(2) 特別支援教育の充実
①特別な支援を必要としている児童に対して「個別支援計画」「個別指導計画」を作成し(100%実施)、学校や家庭における指導を充実(保護者との連携)させる。
②教室環境を整え、掲示物の人権的な配慮、教室前面への掲示物等の配慮(管理職による毎日の確認)について徹底する。全教育活動を通じて、人権教育を一層推進する。
③一日の終わりに、子どもの輝きについて賞賛できる時間を設け、日々の生活の中で成功体験を多くすることで「できる喜び」や「自己肯定感」を児童に体感させる。
④授業の中でユニバーサルデザインの実践をし、児童に分かりやすい授業を展開していく。(視覚化、言語化)
⑤学び合い活動の基盤となる温かい人間関係を育てる。
⑥東京都いじめ防止対策条例を踏まえ「学校いじめ防止基本方針」の確実な実施。特に、道徳教育の充実を図り、家庭と連携のもと、いじめのない豊かな人間関係を育成し、いじめゼロを目指す。(声を出させる、第三者を作らない、未然防止・早期発見・早期解決への組織対応)
⑦道徳と関連させた心の指導、児童相互のいじめ防止、ボランティア活動(おはようボランティア、ゴミ出しボランティア、クリーンボランティア)等への取り組みを通して、豊かな心の育成を図る。
⑧特別支援教室新生小キラリの効果的な活用を図る。

(3) 小中連携教育の推進とネットワーク型の学校経営
①立川八中、新生小と9年間を見通した学びの連続性を視点に連携教育活動を展開する。(立川市民科・外国語活動・キャリア教育を中心に取り組む)
②教員・生徒派遣型の小中連携教育活動を通して、児童・生徒と教員との人間関係を構築していく。(小学校運動会ボランティア、授業支援、進路指導、体験授業・部活動体験、地域清掃、漢字検定等)
②立川市民科の取組や地域の様々な方々との交流、体験活動を通して、市民力を活用し、安心・安全及び特色ある教育活動を展開するとともに郷土を愛する心と豊かな社会性を育む。
③地域・保護者と共に豊かな人間関係をつくるために、各種学校行事・道徳授業地区公開講座・保護者会等、テーマをもって地域・保護者と連携するとともに、学校行事や授業公開を推進し、学期ごとに土曜授業の公開を設定する。
④地域支援団体(各自治会、朝ボラの会、グリーングリーン委員会、安全見守りボランティア、かぜっ子クラブ、青少健、富士子連、たちかわ未来パーク、たちかわ創造舎等)との連携を充実し、地域や保護者の意見・評価を真摯に受け止め、改善に働くものは即生かしていく。
⑤自ら進んで気持ちの良い挨拶ができる児童の育成を図る。

